

## 地域における地球温暖化防止活動促進事業実施報告書

事業名	地域における地球温暖化防止活動促進事業			
事業実施の団体名	公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク			
センター名	宮城県地球温暖化防止活動推進センター			
事業実施の担当者	事業実施の代表者			
	氏名	事業者名・役職名	所在地	
	長谷川 公一	公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク 理事長	〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5階	
	電話番号	FAX 番号		E-mail アドレス
	022-301-9145	022-219-5710		k-hase@m.tohoku.ac.jp
	事業実施の担当者（事業の窓口となる方）			
	氏名	事業者名・役職名	備考	
	三浦 明美	公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク ストップ温暖化センターみやぎ		
電話番号	FAX 番号	E-mail アドレス		
022-301-9145	022-219-5710	a-miura@melon.or.jp		
<事業の目的>				
<p>本事業は、地球温暖化対策の推進に関する法律（平成 10 年法律第 117 号）に基づき、宮城県地球温暖化防止活動推進センター（以下、「宮城県センター」という）が実施する、宮城県民の日常生活に関する温室効果ガスの排出実態に関する地球温暖化防止活動推進員（以下、「推進員」という）を活用した調査、情報収集、普及啓発、地域関連団体との連携等の事業であって、エネルギー起源二酸化炭素の排出の抑制に資する事業を実施することを目的とした。</p> <p>温対法第 38 条に基づき、国民運動「COOL CHOICE」の普及促進をしながら、気候変動問題の普及・啓発を行う。特に、地域住民 1 人 1 人が自発的に CO<sub>2</sub> 削減するための行動に繋がる身近な温暖化対策の提案をした。</p> <p>パリ協定での温室効果ガス削減の日本の目標は 2030 年度に 2013 年度比で 26% の削減である。目標の達成には家庭・個人での温室効果ガスの排出を抑える取組、つまり行動の実践が求められる。地域の特色を活かして、国民運動「COOL CHOICE」を広めることで、脱炭素社会の構築にむけて、着実に CO<sub>2</sub> 削減となる行動につなげる普及・啓発を実施した。</p>				
<事業の内容> (地球温暖化対策の推進に関する法律第 38 条との関連)				
①【地球温暖化対策等（COOL CHOICE 含む）】についての広報・啓発活動【（第 38 条第 2 項第 1 号前段）】				
事項	内容			
事業名	(1) キリバス環境出前講話の開催			
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い層への地球温暖化防止の取組の必要性</li> <li>・COOL CHOICE（エコなライフスタイル選択）の普及促進</li> </ul>			
事業カテゴリ	②情報発信型（能動型）			
実施時期	6 月～2 月（下記の表参照）			
実績 アウトプット アウトカム	<p>アウトプット：県内小・中・高等学校 15 校で実施、 受講者数：1519 名（達成率：101%） 英語による講話実施校：1 校（宮城県仙台東高等学校英語科） COOL CHOICE 賛同 5722 名（達成率：262%）</p> <p>アウトカム：キリバス人による講話が地球温暖化問題をより身近に感じさせ、児童・生徒からの意見表明から自分達が出来る行動へと繋がったことが判った。 民放番組で約 15 分の枠で紹介され、多くの県民の方に広報出来た。</p>			
主な訴求対象	小学生から高校生			
事業の概要	学校を対象に、温暖化により国存亡の危機に直面しているキリバス共和国の紹介を始め、地球温暖化の影響に関する環境講話の講師派遣の広報および派遣実施を行っ			

	た。(講師は宮城県在住のキリバス人に依頼)。講師派遣にあたっては無料派遣とし、講師謝礼は本事業より捻出した。7月より応募開始をし、8月には定数となった。15校のうち12校が新規校、応募校31校があり、事業の広がりが数値からも分かる、英語での講話も日本語と同様に効果があった。 講話を実施した学校からの COOL CHOICE の賛同への協力が大きかった。
効果的な実施のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮城県出身でキリバス人である当事者からの講話は地球温暖化の危機感を身近にさせた。</li> <li>・英語での講話を実施するためにチラシも英語版を作成し、メディアに広報した。</li> </ul>

\*実施校一覧

	開催日時	学校/団体名	対象	人数
1	2018/09/10(月) 10:35~12:10	白石市立白石第一小学校(新規)	小学4年生	65
2	2018/09/21(金) 13:50~15:25	仙台市立通町小学校(新規)	小学4年生	67
3	2018/09/25(火) 9:35~11:30	栗原市立築館小学校	小学4年生	107
4	2018/10/04(木) 13:30~15:00	気仙沼市立新月中学校(新規)	中学1~3年 教職員	150
5	2018/10/9(火) 9:50~10:40	宮城県石巻工業高校	化学技術科 1年	40
6	2018/10/12(金) 13:20~15:10	七ヶ宿町立七ヶ宿中学校(新規)	中学1~3年生	18
7	2018/10/30(火) 13:45~15:45	宮城県仙台東高 英語科(新規)	高校1~3年生	120
8	2018/10/31(水) 13:30~15:00	気仙沼市立鹿折小学校(新規)	小学4~6年生	120
9	2018/11/1(木) 10:40~12:20	気仙沼市立面瀬小学校(新規)	小学3~6年生	212
10	2018/11/22(木) 9:40~11:10	仙台市立沖野東小学校(新規)	小学5年生	64
11	2018/12/07(金) 10:45~12:15	仙台市立蒲町小学校(新規)	小学4年生	120
12	2018/12/11(火) 13:30~15:00	多賀城市立高崎中学校(新規)	中学1年生	120
13	2018/12/13(木) 10:35~12:05	東松島市立矢本第一中学校	中学3年生	200
14	2019/1/28(月) 10:40~12:10	東松島市立桜華小学校(新規)	小学6年生	37
15	2019/2/12(火) 10:35~12:10	柴田町立船岡小学校	小学5年生	108

合計	1,548
----	-------



9/10(月) 白石市立白石小



10/30(火) 宮城県仙台東高等学校



10/31(水) 気仙沼市立鹿折小



12/11(火) 多賀城市立高崎中



1/28(月) 東松島市立桜華小



2/12(火) 柴田町立船岡小

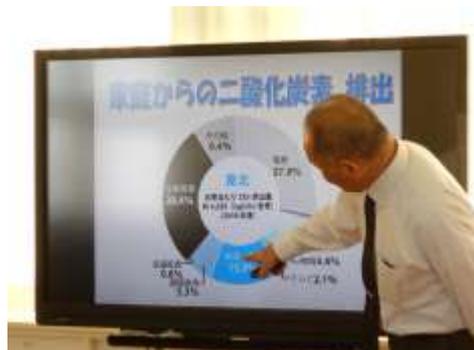
実施一覧

事項	内容
事業名	(2) 環境講座・授業への講師派遣
テーマ	環境意識全般の変化 COOL CHOICE (エコなライフスタイル選択) の普及促進
事業カテゴリー	② 双方向体験交流型 (交流型)
実施時期	6月～2月 (実施校一覧参照)
実績 アウトプット アウトカム	アウトプット: 403名 8回実施 達成人数率: 80% アウトカム: 環境意識全般の変化。 COOL CHOICE の普及啓発、エコなライフスタイルの広報 推進員の活動の場の増加、推進員のスキルアップ
主な訴求対象	小学生から大学生 一般向け (自治体の市民センター)
事業の概要	環境講座・授業への講師派遣事業。(2) の講師派遣においては、通常の講師派遣業務であり、講師料は捻出しない。
効果的な実施のための工夫	・「キリバス環境出前講話」の事前・事後学習として位置付で広報した。 ・市町村・他団体との連携を強化して広報を行い実施開催の数を増やした。

	実施日	実施場所（イベント名等）	内容	派遣者名	参加者数（名）
1	7月23日	荒町児童館	身近な環境発見！〇〇ボックスで遊ぼう！	推進員（後藤健一氏、佐藤憲司氏） 宮城県センター職員	100
2	8月22日	登米市新田小学校	エネルギーを学ぼう！	推進員（千葉智恵氏）	29
3	8月29日	登米市環境リーダー講座	温暖化の仕組み	推進員（鈴木智恵氏）	10
4	9月8日	登米市公衆衛生委員総会	温暖化の仕組み	推進員（千葉智恵氏）	100
5	10月13日	宮城県地球温暖化防止活動推進員新規養成研修会	エネルギーのカバンを持ってみよう！	推進員（千葉智恵氏）	22
6	1月24日	利府町立しらかし台小学校	3Rの現状と私たちの分別の価値について	推進員（後藤健一氏）	47
7	2月9日	宮城県地球温暖化防止活動推進員研修会（一般参加含）	地球温暖化の最新情報未来の地球と私たちの暮らしについて	推進員（鈴木智恵氏）	28
8	2月26日	石巻市立釜小学校	温暖化について	推進員（後藤健一氏）	67
合計					403



7/23 仙台市荒町児童館



2月26日石巻市立釜小

事項	内容
事業名	(3) 地域イベントにおけるブース出展
テーマ	エコなライフスタイル選択の促進 多世代に渡る環境意識全般の変化
事業カテゴリー	②情報発信型（能動型） ③双方向体験交流型（交流型）
実施時期	6月～2月
実績 アウトプット アウトカム	アウトプット：1,800名（150名×12回） 4700名 22か所 アウトカム：COOL CHOICEの認知向上と賛同者の増大、 エコなライフスタイル実践への促進、アンケート回収数の拡大 推進員の活動の場の増加、推進員のスキルアップ プロスポーツの試合における啓発ブース・体験コーナーの出展によ

	り、スポーツ観戦に訪れた大勢の一般市民にアピールができた。
主な訴求対象	イベントへの参加者
事業の概要	市町村との連携を活かし市町村のみならず NPO・企業主催のイベントへの出展。 推進員の協力を得て多彩な交流体験も実施した。 COOL CHOICE の賛同の呼びかけとアンケートの実施。
効果的な実施のための工夫	・市町村へのアプローチを行い、広報等の協力を得る。 ・人出が多く見込まれる場所にブースを出展する。

#### 出展一覧

	実施日	実施場所（イベント名等）	内容	参加者数（名）	活動推進員数（名）
1	6月17日	しちがはま環境フェスタ (七ヶ浜町)	パネル展示・体験	200	4
2	6月24日	環境マルシェ	資料展示配布	100	2
3	7月15日	サイエンスデイ	パネル展示・体験・資料展示配布	300	5
4	7月24日	仙台市水道フェア2018	パネル展示・体験・資料展示配布	100	
5	7月28日	エコチャレンジフェスタ in ユアスタ仙台2018	体験・温暖化啓発資料展示・配布	1000 *1	5
6	8月10日	エネルギーの実験室	体験・温暖化啓発資料展示・配布	50	2
7	8月21日	夏休み特別企画「楽天命 パークエコ体験ブース	体験・温暖化啓発資料展示・配布	500 *2	4
8	8月22日	夏休み特別企画「楽天命 パークエコ体験ブース	体験・温暖化啓発資料展示・配布	500 *3	3
9	9月9日	はやぶさまつり（角田市）	体験・パネル展示・資料配布	300	3
10	9月15日	仙台市交通フェア	温暖化啓発資料展示配布	100	2
11	9月29日	MELON フェスタ	温暖化啓発資料展示配布	100	6
12	10月7日	りふ環境まるごとフェア (利府町)	温暖化啓発資料展示配布	100	2
13	10月21日	おおがわらオータムフェア (大河原町)	温暖化啓発資料展示配布	50	2
14	10月21日	柴田町環境フェア	温暖化啓発資料展示配布	50	1
15	10月21日	角田市環境フェスティバル 2018	温暖化啓発資料展示配布	50	1
16	10月21日	とみやLaLa マルシェ（富谷 市）	温暖化啓発資料展示配布	100	1
17	11月3日	環境フェアかなん(石巻市)	温暖化啓発資料展示配布	300	3
18	11月10日	せんだい収穫祭	温暖化啓発資料展示配布	100	1
19	11月12日	エコフェスタ2018（気	温暖化啓発資料展示配布	50	2

		仙沼市)			
20	12月2日	環境フォーラム仙台	温暖化啓発資料展示配布	100	2
21	1月12日	みやぎ環境フェスタ	温暖化啓発資料展示配布	500	7
22	2月2日	薪ストーブ・ペレットストーブ展示・体験フェスタ	温暖化啓発資料展示配布	50	1
合計				4,700	48

- \*1 主催者発表 ・観客： 14911名 (ユアテックスタジアム仙台のイベント)
- \*2 主催者発表 ・観客： 24789名 (楽天生命球場のイベント)
- \*3 主催者発表 ・観客： 26290名 (楽天生命球場のイベント)

\*1 7/28 エコチャレンジフェスタ in ユアスタ仙台



サッカーピッチ上での「地球温暖化とゴミ削減の啓発」の横断幕行進



入口での資料配布

\*2、3 8/21、22 夏休み特別企画「楽天生命パークエコ体験ブース」



会場風景



マスコットとともに



自転車発電体験コーナー



7/15 サイエンスデイ



10/7 りふ環境まるごとフェア



1/12 みやぎ環境フェスタ



2/2 薪ストーブ・ペレットストーブ展示体験フェスタ

事項	内容
事業名	(4) ネイティブと学ぶ環境学習会 (英語を使って)
テーマ	低年齢層向け環境意識の初めの一歩 多世代に渡ってのエコなライフスタイルの普及
事業カテゴリー	③ 双方向体験交流型 (交流型)
実施日	10月26日、1月26日
実績 アウトプット アウトカム	アウトプット：10月26日15名、名取市相互台公民館 1月26日50名 名取市図書館 アウトカム：カナダ人講師からネイティブ英語を体験できた。 不特定多数への環境問題へのアピール。
主な訴求対象	小学生、低年齢の子どもと親子 環境に関心が低い層
事業の概要	環境と国際理解の2本立ての学習会。 講師は英語のネイティブスピーカーのカナダ人が行った。 不特定多数の人が集まる場所での開催。
効果的な実施のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育に関心がある学校に広報した。</li> <li>・名取市図書館と連携して、図書館オープンイベントとして実施した。</li> <li>・国際的視野を入れるためにカナダに焦点をあて、講師もカナダ人としてカナダ大使館の後援を得た。</li> </ul>



1/26 カナダ人講師から学ぶ親子環境学習



不特定多数の人の関心を引き付けるための音楽演奏

事項	内容
事業名	(5) 森で学ぶ温暖化親子学習会の開催
テーマ	自然の中で学ぶ地球温暖化問題 多世代に渡ってのエコなライフスタイルの普及
事業カテゴリー	④ 双方向体験交流型 (交流型)
実施日	10月26日
実績 アウトプット アウトカム	アウトプット：15名 名取市相互台公民館の森 アウトカム：温暖化問題の関心を引き付けるための体験型アプローチ 英語による学習が環境に対して新たな興味を引きだした。 多様化の大切も実感できた。
主な訴求対象	低年齢の子どもと親：子ども(3~12歳)と親(20~40代)
事業の概要	森の中で自然に触れながら、木・森林の役割を学ぶ体験学習会。 COOL CHOICE の賛同の呼びかけとアンケートの実施。

効果的な実施のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の小・中学校に広報をした。</li> <li>・講師をカナダウッド（カナダ政府外郭団体）に依頼して、カナダの最新森林保全事情を聴けるようにした。</li> </ul>
--------------	---



カナダ人講師より木・森林についての説明



実物の木を見ながら木の役割の解説

事項	内容
事業名	(6) 地球温暖化に関する講演会の開催 (COP24 報告会)
テーマ	COP24 報告会, 地球温暖化防止取組みの海外情報
事業カテゴリ	②情報発信型 (能動型)
実施日	2月9日 (土)
目標 アウトプット アウトカム	アウトプット：50名 アウトカム：温暖化対策の地域波及、温暖化対策の必要性の認識向上 COP24 に政府代表のメンバーとして参加された環境省の方を講師に迎えた。伝えてとなる推進員や自治体の職員、パリ協定や気候変動に関心が高い方に向けての講演は彼らの活動の場において最新情報を紹介することに寄与する。 COOL CHOICE の認知向上と賛同者の増大
主な訴求対象	気候変動に関心のある人 環境意識の高い方：推進員、環境団体職員、自治体職員、教員等で伝え手となる人
事業の概要	講師に COP24 に参加した専門家である環境省・地球環境局国際地球温暖化対策担当参事官室 係長 小俣大明氏を迎え、世界の動向・日本の取り組みについて講演をいただいた。 COOL CHOICE の賛同呼びかけとエコなライフスタイルの提案を行った。
効果的な実施のための工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際会議に参加した環境省の方を講師に迎えた。</li> <li>・環境意識の高い方向けの講座として位置付け、広報を絞った。</li> </ul>



講演会場風景



環境省・地球環境局  
国際地球温暖化対策担当官室の方が講師

事項	内容
事業名	(7) コミュニティーFM からエコ情報
テーマ	家庭の省エネと省エネ家電の説明 エコドライブへの啓発
事業カテゴリー	①情報発信型(受動型)
実施時期	6月 放送時間 15分2回、再放送1回
目標 アウトプット アウトカム	アウトプット：放送可聴人口は約50万人 仙台市の「エフエムたいはく」の視聴者。可聴エリアは仙台市、名取市、岩沼市、多賀城市の一部 アウトカム：視聴者の地球温暖化問題の意識向上。 視聴者の具体的な行動への実践。 推進員の活動の場の増加、推進員のスキルアップ。
主な訴求対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境意識の低い層</li> <li>・ドライブ中の視聴者</li> <li>・家庭での視聴者</li> </ul>
事業の概要	仙台市の「エフエムたいはく」の番組に推進員とともにゲストとして出演。家庭での省エネと地球温暖化による影響等を伝えて関心を高め、行動に移すように呼びかける。
効果的な実施のための工夫	(家庭の省エネと省エネ家電) <ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコンの消費が高まる時期に備えて6月末に出演。</li> <li>・エアコンの使い方や節電、節約ができることを紹介。</li> <li>・省エネ家電が節約効果をもつことやリサイクルを紹介することで、買換えを躊躇している層へ説明した。</li> <li>・パーソナリティーとともに分かりやすく楽しく伝えた。</li> <li>・省エネ啓発として紙芝居で紹介した。</li> </ul>

\* (1) ~ (7) に渡って COOL CHOICE の賛同の呼びかけを行った。

\* (1) ~ (6) に渡ってアンケートの実施を行った。

⑤ 【地域地球温暖化防止活動推進員や民間団体の活動支援】(第38条第2項第1号後段)

⑥

(1) 推進員の研修の開催

グループを作ったの活動拡大を目的として3回実施、そのうち2回は推進員のスキルアップと意識向上のために一般者を含めて実施。

時期：9月8日(土) 15名(推進員のみ)  
          12月9日(日) 29名(うち推進員9名)  
          2月9日(土) 28名(うち推進員21名)

会場：仙台市内の会議室

対象：推進員(第1回目)、一般(第2回目、第3回目)

参加人数：72名

アウトプット：企画グループ4団体が誕生。うち2団体が12月9日に研修会にて模擬環境授業(中学生向け)を実施。2団体が1月12日みやぎ環境フェスタでブース出展をして COOLCHOICE の広報、アンケートを実施。

4団体による企画会議 回数15回、参加人数のべ51名  
アウトカム：第1回研修会で得た知識で身近に企画して積極的な活動に結び付いた。さらに実際の活動を通して推進員の課題分析力・問題解決力のアップ、モチベーションアップと繋がった。

推進グループの活動活発化は COOL CHOICE の認知度の増大のための推進員の実践の場と機会が増加した。



第1回 グループ作りのワークショップ



第2回 一般参加者に模擬環境学習を实践



第3回 気象予報士による環境学習会の公開



推進員グループによる定期的なミーティング風景

## (2) 北海道・東北ブロック合同推進員研修の開催

時期：11月17日（土） 場所：盛岡市内の会議室 対象：宮城県地球温暖化防止活動推進員 人数：2名

アウトプット：東北ブロック合同研修への2名参加

アウトカム：推進員のスキルアップ、センター間の連携強化となった。若い推進員（20代前半）による活動報告は他県

センターに刺激を与えた。



宮城県の推進員の発表



合同研修会のワークショップ風景

## (3) ①全般への推進員の活用、推進員活動の広報

時期：通年 場所：県内 対象：宮城県地球温暖化防止活動推進員

アウトプット：講師派遣：8件、9名 ブース出展での推進員の活用：人数：64名（達成率：118%）

ウェブサイト：16回 情報紙：2回

アウトカム：推進員のモチベーションアップと活動の場の増加。推進員の認知度アップ、特に子ども達へ認知度アップ

ストップ温暖化センターブログ

MELON 情報紙ウェブ



推進員の活動風景



情報紙での推進員だより

(4) 地球温暖化防止活動を行う民間団体等の調査・取材

時期：1月

場所：宮城県農業高等学校（以下宮農）、尚絅学院大学

対象：低炭素杯2019にエントリーした団体

取材団体数：2団体

アウトプット：宮城県より3団体が低炭素杯2019にエントリー。宮農が低炭素杯2019で文部科学大臣賞受賞・オーディエンス賞ダブル受賞

アウトカム：団体と連携強化により環境関連のイベントにブース出展が実現した。ダブル受賞したことで広く周知できた。

(5) 地球温暖化防止活動を行う民間団体等の調査・取材

(4)にて調査・取材した団体について、ウェブサイトや情報紙等で紹介し、情報発信を行う。昨年度は低炭素杯エントリー団体のみだったので、今年度は幅広い分野を取り上げる。

時期：1月から2月 発信回数：4回

アウトプット：ウェブサイトや情報紙等で団体の情報発信

アウトカム：団体との連携、団体のモチベーションアップと活動活性化

ストップ温暖化センターみやぎブログ



宮城県農業高等学校の取材



低炭素杯2019の取材記事

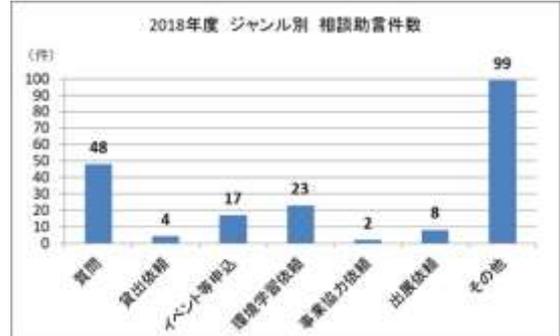
③【日常生活に関する温室効果ガス排出抑制措置等についての相談対応、助言】(第38条第2項第2号)

日常生活に関する温室効果ガスの排出抑制等のための措置について、県民の照会・相談窓口となり、必要に応じて助言を行う。昨年は目標を大幅に上回り 204 件(達成率 128%) だった。今年度も引き続き、的確な助言が行えるように職員間の情報共有を密に行う。

時期：通年 受付体制：電話・メール・来訪 回数：207 件

アウトプット：電話・メール・来訪による相談対応、実績

アウトカム：宮城県センターの信頼度の向上、センター職員のスキルアップ、地球温暖化防止活動の認知度がアップした。



④【地域の温室効果ガス排出に関する実態調査、情報収集・分析、成果の発信】

(第38条第2項第3号、第4号)

宮城県内における温室効果ガスの排出実態について、調査・把握・分析等の結果を冊子として配布して広く県民への周知することで、温室効果ガスの抑制を図った。

(1) 宮城県内の一般家庭における CO<sub>2</sub> 排出実態の分析

過年度宮城県センター事業において実施した一般家庭の CO<sub>2</sub> 排出実態および行動変容に関する調査のデータ等を用い、宮城県内一般家庭における CO<sub>2</sub> の排出実態および温暖化対策の取り組み状況の把握・分析を実施した。

時期：6～8月

アウトプット：平成 29 年度宮城県内の家庭における CO<sub>2</sub> 排出実態データの分析

アウトカム：排出実態の独自データから用途別内訳のグラフを作成した。

(2) 分析結果をまとめた冊子作成

(1) で分析した結果を取りまとめ、より波及効果が高い冊子で県民への CO<sub>2</sub> 排出実態を伝えた。

時期：1月11日発行

アウトプット：冊子を 1000 部作成、イベントや環境学習実施校に配布

アウトカム：県民の意識向上、対策実践、県センターの認知度向上 温暖化の仕組み等を記載することでより温室効果ガス抑制の効果が見られた。



CO<sub>2</sub> 排出実態冊子 (運営委員会の報告書) の表紙と分析結果のページ

⑦ 【指定自治体への施策協力】(第38条第2項第5号)

指定自治体が実施する施策について、自治体から依頼があった場合は積極的に協力をする。意見を表明した。

アウトプット：指定自治体の施策への協力

アウトカム：意見表明

⑥ 【附帯する事業】(第38条第2項第6号)

①～⑤の事業実施において附帯する事業を行う事で、①～⑤の事業が効果的および円滑に遂行することを図る。

(1) 他県の地球温暖化防止活動センターへのヒアリング訪問

時期：11月 京都府センター訪問、推進員研修会の視察

1月 山梨県センター訪問、インタープリンターズキャンプ(体験学習法)の参加、研修手法の視察調査

アウトプット：他県の地球温暖化防止活動推進センターへのヒアリング訪問

推進員研修会でヒアリングの報告を実施した。

アウトカム：推進員の他県センターの活動内容の共有＝第3回推進員研修会にて京都府センター、山梨県センターのヒアリング結果の報告を行った。特に他県センターの推進員が開発した教材を紹介することで、推進員のモチベーションアップと繋がった。また、自ら企画するアイデアのヒント作りを実施した。

スタッフのスキル向上＝山梨県センターで実施している体験学習を当団体職員に実施して、今後の企画に活かされるきっかけを提供した。

他県センターとの連携＝今後の推進員研修や活動に対して情報共有のパイプを構築した。



京都府センターの推進員研修会の内容・様子を  
宮城県推進員研修会にて報告



山梨県センターの教材を推進員研修会にて紹介  
('おんだんかすごろく' と 'カルタ')

(2) 全国センター調査への協力

全国センターが実施する各種調査・アンケートに協力することで、円滑な事業遂行を図る。

時期：通年

アウトプット：全国センター調査への回答・協力

アウトカム：円滑な事業遂行

<事業の効果>

【事業効果の目標】

A) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出削減量： 386 (t-CO<sub>2</sub>)

B) COOL CHOICE 賛同数： 13,143 (人) 18 (社)

【上記のエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出削減量及び COOL CHOICE 賛同数の測定方法(計算式、根拠資料等)】

A) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出削減量

以下①の4つの業務にて、各受講者・参加者・来場者の人数に、1人当たりの年間みなし削減量及び係数をかけた値を求める。なお上記目標値は、事業実施期間中の削減値を記載する。

\*削減量 (kg-CO<sub>2</sub>/年) =削減原単位 × 削減効果算出のための係数 × 参加人数

\*削減原単位=138 (kg-CO<sub>2</sub>/年/人)

\*削減効果算出のための係数

削減係数	啓発手法	
	座学・体験・展示	対話
温暖化問題全般	1	0.94
その他	0.89	1.06

(1) CO<sub>2</sub> 排出削減量の結果一覧

	実施場所 (イベント名等)	CO <sub>2</sub> 削減量	
		事業期間 (kg-CO <sub>2</sub> )	年間 (kgCO <sub>2</sub> -/年)
1	① (1) キリバス環境出前講話	62, 718	213, 624
2	① (2) 講師派遣	19, 655	55, 614
3	① (3) イベント出展	301, 483	648, 600
4	①(4) (5) ネイティブから英語で学ぶ環境学習・森で学ぶ温暖化親子学習会	2, 042	11, 040
5	① (3) COP22 関連イベント	359	6, 900
合計		386, 257	935, 778

(2) 業務別結果一覧

<① (1) キリバス環境出前講話の実施>

\*啓発手法は「座学・体験・展示」、啓発内容は「温暖化全般」で全回共通

	実施日	実施場所 (イベント名等)	削減効果算出のための係数	参加者数 (名)	実践期間 (回) 収日~2019 /2/28)	CO <sub>2</sub> 削減量	
						事業期間 (kg-CO <sub>2</sub> )	年間 (kg-CO <sub>2</sub> /年)
1	2018/09/10(月)	白石市立白石第一小学校	1	65	171	4, 202	8, 970
2	2018/09/21 (金)	仙台市立通町小学校	1	67	160	4, 053	9, 246
3	2018/09/25 (火)	栗原市立築館小学校	1	107	156	6, 311	14, 766
4	2018/10/04 (木)	気仙沼市立新月中学校	1	150	147	8, 337	20, 700
5	2018/10/09 (火)	宮城県石巻工業高校	1	40	142	2, 148	5, 520
6	2018/10/12(金)	七ヶ宿町立七ヶ宿中学校	1	18	139	946	2, 484
7	2018/10/30 (火)	宮城県仙台東高 英語科	1	120	121	5, 490	16, 560
8	2018/10/31(水)	気仙沼市立鹿折小学校	1	120	120	5, 444	16, 560
9	2018/11/1 (木)	気仙沼市立面瀬小学校	1	212	119	9, 538	29, 256
10	2018/11/22 (木)	仙台市立沖野東小学校	1	64	98	2, 371	8, 832
11	2018/12/07 (金)	仙台市立蒲町小学校	1	120	83	3, 766	16, 560
12	2018/12/11(火)	多賀城市立高崎中学校	1	120	75	3, 403	16, 560
13	2018/12/13 (木)	東松島市立矢本第一中学校	1	200	75	5, 671	27, 600
14	2019/1/28 (月)	東松島市立桜華小学校	1	37	31	434	5, 106
15	2019/2/12(火)	柴田町立船岡小学校	1	108	16	653	14, 904

合計		1548		62,767	213,624		
<p>&lt;① (2) 環境講座・授業への講師派遣&gt;  *啓発手法は「座学・体験・展示」、啓発内容は「温暖化全般」で全回共通</p>							
実施日	実施場所 (イベント名等)	削減効果 算出のた めの係数	参加 者数 (名 )	実践期間 (回収日～ 2019/2/28)	CO2 削減量		
					事業期間 (kg-CO <sub>2</sub> )	年間 (kg-CO <sub>2</sub> / 年)	
1	2018/7/23	荒町児童館	1	100	220	8,318	13,800
2	2018/8/22	登米市新田小学校	1	29	190	2,083	4,002
3	2018/8/29	登米市環境リーダー講座	1	10	183	692	1,380
4	2018/9/8	登米市公衆衛生委員総会	1	100	173	6,541	13,800
5	2018/10/13	宮城県地球温暖化防止活動推進員新規養成研修会	1	22	138	1,148	3,036
6	2019/1/24	利府町立しらかし台小学校	1	47	35	622	6,486
7	2019/2/9	宮城県地球温暖化防止活動推進員研修会	1	28	19	201	3,864
8	2019/2/26	石巻市立釜小学校	1	67	2	51	9,246
合計				403		19,655	55,614
<p>&lt;① (3) 地域イベントにおけるブース出展&gt;  *啓発手法は「座学・体験・展示」、啓発内容は「温暖化全般」で全回共通</p>							
実施日	実施場所 (イベント名等)	削減効果 算出のた めの係数	参加 者数 (名 )	実践期間 (回収日～ 2019/2/28)	CO2 削減量		
					事業期間 (kg-CO <sub>2</sub> )	年間 (kg-CO <sub>2</sub> / 年)	
1	6月17日	しちがはま環境フェスタ (七ヶ浜町)	1	200	256	19,358	27,600
2	6月24日	環境マルシェ	1	100	249	9,414	13,800
3	7月15日	サイエンスデイ	1	300	228	25,861	41,400
4	7月24日	仙台市水道フェア2018	1	100	219	8,280	13,800
5	7月28日	エコチャレンジ in コアスタ仙台 2018	1	1000	215	81,288	138,000
6	8月10日	エネルギーの実験室	1	50	202	3,819	6,900
7	8月21日	夏休み特別企画「楽天命パークエコ体験ブ ース	1	500	191	36,107	69,000
8	8月22日	夏休み特別企画「楽天命パークエコ体験ブ ース	1	500	190	35,918	69,000
9	9月9日	はやぶさまつり (角田市)	1	300	172	19,509	41,400
10	9月15日	仙台市交通フェア	1	100	166	6,276	13,800
11	9月29日	MELON フェスタ	1	100	152	5,747	13,800
12	10月7日	りふ環境まるごとフェア (利府町)	1	100	144	5,444	13,800
13	10月21日	おおがわらオータムフェア (大河原町)	1	50	130	2,458	6,900

14	10月21日	柴田町環境フェア	1	50	130	2,458	6,900
15	10月21日	角田市環境フェスティバル2018	1	50	130	2,458	6,900
16	10月21日	とみやLaLa マルシェ (富谷市)	1	100	130	4,915	13,800
17	11月3日	環境フェアかなん(石巻市)	1	300	117	13,271	41,400
18	11月10日	せんだい収穫祭	1	100	110	4,159	13,800
19	11月12日	エコフェスタ2018 (気仙沼市)	1	50	108	2,042	6,900
20	12月2日	環境フォーラム仙台	1	100	88	3,327	13,800
21	1月12日	みやぎ環境フェスタ	1	500	47	8,885	69,000
22	2月2日	薪ストーブ・ペレットストーブ展示・体験フェスタ	1	50	26	492	6,900
合計					4,700	301,483	648,600

<①(4)(5) ネイティブから英語で学ぶ環境学習・森で学ぶ温暖化親子学習会>

\*啓発手法は「座学・体験・展示」、啓発内容は「温暖化全般」で全回共通

	実施日	実施場所 (イベント名等)	削減効果算出のための係数	参加者数 (名)	実践期間 (回収日～2019/2/28)	CO2削減量	
						事業期間 (kg-CO <sub>2</sub> )	年間 (kg-CO <sub>2</sub> /年)
1	10月26日	森で学ぶ温暖化親子学習会	1	15	125	709	2,070
2	10月26日	ネイティブから英語で学ぶ環境学習第1回	1	15	125	709	2,070
3	1月26日	ネイティブから英語で学ぶ環境学習第2回	1	50	33	624	6,900
合計				80		2,042	11,040

<①(6) 地球温暖化に関する講演会の開催>

\*啓発手法は「座学・体験・展示」、啓発内容は「温暖化全般」で全回共通

	実施日	実施場所 (イベント名等)	削減効果算出のための係数	参加者数 (名)	実践期間 (回収日～2019/2/28)	CO2削減量	
						事業期間 (kg-CO <sub>2</sub> )	年間 (kg-CO <sub>2</sub> /年)
1	2019/2/9	COP24 報告会 in 仙台	1	50	19	359	6900
合計				50		359	6900

B) COOL CHOICE 賛同数

以下①および②における6つの業務にて、各受講者・参加者・来場者に直接広報および賛同をよびかけるとともに、関係団体等へ周知する。賛同登録用紙の回収枚数を持って、賛同数とした。

	業務	個人賛同数	団体賛同数	団体所属人数	賛同数
1	①(1) キリバス環境出前講話 *実施校15校に対して実施した。	0	15	5277	5277
2	①(2) 環境講座・授業への講師派遣	16		0	16

3	①(3) 地域イベントにおけるブース出展	278		0	278
4	①(4) ネイティブと英語で学ぶ環境学習	1		0	1
5	①(5) 森で学ぶ温暖化親子学習会	1		0	1
6	①(6) 地球温暖化に関する講演会	4		0	4
7	①(1～7) における COOL CHOICE の広報および賛同登録の呼びかけ	19	2	22	41
8	せんだいE-ACTION	0	1	7525	7525
合計		319	18	12824	13143

以下は、各業務の事業効果および実績の報告である。

①【地球温暖化対策等（COOL CHOICE 含む）についての広報・啓発活動】

(1) キリバス環境出前講話の実施

若い世代の温暖化への関心の向上、学校との連携強化、宮城県センターの認知度と信頼度向上、講師派遣回数の増加、COOL CHOICE の認知度向上が見られた。

\*受講者実績：1548名（115回）、賛同数：5277名

(2) 環境講座・授業への講師派遣

県民の温暖化対策の関心向上や実践促進、COOL CHOICE の認知度向上が見られた。

\*受講者目標：403名、8回

\*賛同数：16

(3) 地域イベントにおけるブース出展

県民の温暖化対策の関心の向上や実践促進、COOL CHOICE の認知度向上が見られた。

\*来場実績：4,700名（22回）

\*賛同数：278

(4) ネイティブと学ぶ環境学習会の開催

幼い頃から環境意識を育むように低年齢層向け環境学習会。多世代交流で持続可能な社会構築となった。

家族でエコなライフスタイルを実践促進、COOL CHOICE の認知度向上が見られた

\*受講者目標：27名

\*賛同数：1

(5) 森で学ぶ温暖化親子参加学習会の開催

自然の中で、温暖化についてやさしく学ぶ。環境保全意識の向上。多世代交流で持続可能な社会構築となる。家族でエコなライフスタイルを実践促進、COOL CHOICE の認知度向上が見られた。

\*受講者目標：15名（親子）

\*賛同数：1

(6) 地球温暖化に関する講演会の開催

温暖化対策の地域波及、COOL CHOICE の認知度向上が見られた。

\*実績：50名

\*賛同数：4

(7) コミュニティ FM への出演

県民の意思向上、対策実践の拡大が見られた。

\* (1) ～ (7) において COOL CHOICE 認知度向上, COOL CHOICE の賛同登録者の増加が見られた。

\* 賛同登録者実績：1,314名（達成率：304%）

\* (2) ～ (6) においてアンケート回収率の増加。削減効果および行動変容の把握が見られた。

\* アンケート回答者実績：591名（達成率：197%）

②【地域地球温暖化防止活動推進員や民間団体の活動支援】

(1) 推進員研修の開催

\*参加者実績：72名

(2) 東北ブロック合同推進員研修の開催

推進員のスキル・モチベーション向上、他県センター間の連携強化が見られた。

\*参加者：2名

(3) 講師派遣・地域イベントへの推進員活動の広報

推進員のスキル・モチベーション向上と実践の場が増加、推進員の認知度向上が見られた。

\*講師派遣目標：9名(8件)

\*イベント活動者実績：64名

\*広報実績：16回

(4) 地球温暖化防止活動を行う民間団体等の調査・取材

団体との連携強化、新たな団体とのつながりができた。

\*取材数：2団体

(5) 地球温暖化防止活動を行う民間団体等の広報

団体のモチベーション向上と活動活性化が見られた。

\*広報回数：ブログ9回、情報紙2回

③【日常生活に関する温室効果ガス排出抑制措置等についての相談対応、助言】

宮城県センターの信頼度向上、センター職員のスキル向上が見られた。

\*対応数実績：207件

④【地域の温室効果ガス排出に関する実態調査、情報収集・分析、成果の発信】

(1) 宮城県内の一般家庭におけるCO<sub>2</sub>排出実態の分析

排出実態の独自データベースを作成した。

(2) 分析結果をまとめた冊子作成

県民の意識向上、対策実践、センターの認知度向上が見られた。

⑤【指定自治体への施策協力】

指定地域センターとしての信頼関係の構築と県内の自治体の地球温暖化対策の活性化が見られた。

⑥【附帯する事業】(第38条第2項第6号)

(1) 他県の地域温暖化防止活動推進センターへのヒアリング訪問

センター職員のスキルアップと他県センターの活動紹介を推進員研修会で実施した。

\*ヒアリング回数：2回(京都府センター、山梨県センター)

(2) 全国センター調査への協力を実施した。

<事業の実施体制>、<事業実施に関する事項>

交付申請書のとおり

<実施スケジュール>

別紙「平成30年度事業実施スケジュール」とおり。